



みくも

No. 10

令和7年(2025年)2月5日

湖南省立三雲小学校

TEL 72-0025 児童数525名

文責: 校長 西村 信二

「福は内、鬼も内」

2月2日(日)は節分でした。節分といえば豆まきですが、季節の変わり目は邪気が入りやすいと考えられており、その邪気を追い払い新しい季節を清めるために豆まきなどの行事が行われてきました。「福は内、鬼は外」と叫びながら、年の数だけ豆をまいて一年の無病息災を願います。皆さんのお家でも豆まきをされたでしょうか？

湖南省にある国宝の善水寺では、毎年節分の日に「星祭節分会」が開催されています。この節分会は、一般的な豆まきとは少し違ったとても興味深いものです。まず、私たちの心の奥底に潜む「三毒鬼」と呼ばれる青鬼、赤鬼、黄鬼が登場します。

青鬼: 欲望を表し、私たちを悪い方向へ引き寄せようとする心の象徴です。美味しいものを食べたい、楽しいことをしたいなど、私たちの心の中に常に存在する欲を表しています。

赤鬼: 怒りや嫉妬を表し、人間関係を壊してしまう心の象徴です。友だちとケンカをしてしまった、誰かをうらやましいと感じてしまったなど、誰もが経験する感情を表しています。

黄鬼: 無知を表し、正しい判断を妨げる心の象徴です。知らないことを知りたい、新しいことを学びたいという気持ちは大切ですが、一方で、間違った情報に惑わされたり、判断を誤ったりする心を表しています。

これらの鬼は、私たちが日常生活の中で感じている様々な心の状態を象徴しています。節分会で鬼と対面することで、自分自身の心の状態を客観的に見つめ直し、改善するきっかけとなるのです。そして、僧侶による読経や法話が行われ、参加者全員で心をついにし、(旧暦の)新しい年を迎えようという気持ちが深まります。そして、いよいよ豆まき！一般的な節分会で唱えられる「福は内、鬼は外」とは異なり、善水寺では「福は内、鬼も内」と唱えます。これは、内なる自分自身の煩惱(鬼)と向き合い、それを克服しようとするという、より深い意味合いが込められています。

節分は、単に豆をまく日だけでなく、一年の始まりにあたり、心身を清め、新しい自分へと生まれ変わるための大切な日です。節分をきっかけに、子どもたちが心身ともに健やかに成長していくことを願っています。



三毒鬼(赤鬼・青鬼・黄鬼)の登場

5年生校外学習 東大阪市消防局防災学習センター・海遊館

1月31日（金）に5年生が校外学習に行きました。行先は、東大阪市消防局防災学習センターと海遊館でした。防災学習センターでは、地震体験、煙避難体験、3D防災体験シアター、被災地体験を行いました。特に地震体験では、起震装置に乗って震度1・震度3・震度5を体験した後、阪神淡路大震災と東日本大震災の揺れを体験しました。縦揺れと横揺れの違いに気付いたり、手すりなしでは立ってられないくらいの大震災の揺れの激しさに驚いたりしていました。



大震災の揺れを体験



姿勢を低くして避難



悠々と泳ぐ大きなジンベイザメ

第2回 55交流会(5歳児と5年生の交流会)

1月16日（木）の5時間目に5年生と5歳児が交流する「55交流会」が開催されました。来年度、新1年生と6年生になる子どもたちがお互いに顔見知りになることや少しでも小学校のことを知ってもらうのが目的です。昨年の5月に第1回が行われ、その時は5年生が平松こども園にお邪魔しました。今回は入学説明会に来られた保護者と一緒に来校した5歳児と交流しました。スタンプラリー形式で保健室や図書室、音楽室などを紹介したり、5年生の教室でクイズを出したりしました。5歳児はとても楽しそうでした。また企画をした5年生は、優しいお兄さんお姉さんの顔をしていました。

最高学年に向けて、自信をつけるよい機会になりました。



避難訓練を行いました

1月29日（水）の中休みに避難訓練を行いました。今回の避難訓練は、教員や児童に期間だけ知らせて詳しい日時は知らせずに行いました。今回のねらいは、次の3点でした。

- ① 地震が起きた時に、自分の身を守るための「シェイクアウト」の動作を身につける。
- ② 放送をよく聞き、自分で判断して、安全な場所へ素早く避難する。
- ③ いざという時には、非常扉や非常口使って安全に避難する。



休み時間でしたので多くの児童が運動場で遊んでいましたが、緊急放送が流れると子どもたちは運動場の真ん中に集まってシェイクアウトの動作を行っていました。約5分ほどで避難完了しました。